

# 教育ニュース「協働 共豊」 No.17

今週の児童四字熟語

「秋空太輝」澄みきった秋空に太陽が輝くの意(6年生)

平成22年11月18日

広島市立吉島小学校

面倒なことや苦しいことは避けた方がよい、大人が先回りして失敗のないように、手軽に悩まずに……。ある教育雑誌に、こんな社会風潮がみられる意識調査がありました。一方、「かわいい子には林をさせよ」、「若いうちの苦勞は買ってでもさせろ」などの教育訓があります。

社会体験や自然体験、集団体験が減少し、豊かな人間性や社会性、自律性や創造性の育ちにブレーキがかかっていると問題提起されるこの頃。紆余曲折した体験は生きて働く実践的な経験となり、体全体のなかに記憶化されます。

今回の5年生の野外活動もまた、友だち同士の絆を広げ強めるとともに、「みんなで、成功体験のみならず困難や失敗の体験から学ぶ、大切なことと生み出す」をスローガンに、活動を計画し取り組みました。スローガン達成のための合い言葉

よしじま10 でスタート!!

よ・・・よいこと、よいもの、よい人を見つけよう  
し・・・しっかり自分の役目を果たそう  
じ・・・時間を守ろう  
ま・・・周りの人に自分の気持ちを伝えよう

!! !! わっしょい!!

野外活動センターに到着してすぐ、「ああきれい。」出迎えてくれたのは真っ赤なもみじ、そして黄色のイチョウです。重い荷物を背負いながらも、しっかりと澄んだ空気を吸い、きれいな景色をきれいだと感じることでできる子どもたち。こうして「よ」をどんどん見つけていきました。1日目のキャンプファイヤー、降るような星空の下、山に響く元気な子どもたちの「えび!かに!えびかにえびかに!・・・」そして笑い声。身の引き締まる寒さの中、男女仲良くグループを組みゲームをしたり、歌ったり踊ったりと、子どもたちの熱いファイヤーが続きます。やがて炎が小さくなり、ファイヤーロードを通過して宿泊棟へ。まるで映画のシーンのようでした。きっとそれぞれの心に友達の笑顔と温かさがしっかりと刻まれたことでしょう。

2日目、「し」っかり自分の役目を果たしたのは、野外炊飯です。朝の気温1度のこの日、もちろんお湯は出ません。ビニル袋も簡単には開きません。ガスや電気もありません。冷たい水に見る間に手は凍えてかじかみ、なかなかつかない竈の火の煙ばかりが目にし、時間は経っていきます。そんな中、一人任された野菜の下ごしらえを黙々とこなす男子。調理台にそのままになっているビニル袋や野菜くずを、さっと所定の場所に捨てに行く女子。「先生、めまいがしそう。」やっとならないうつかり火を消してはならないと必死に息を吹き続ける子。もらい火を思いつき火をおこした子。なかなかうまくいかない時も、決して他を非難して言い争う姿は見られませんでした。本当に優しい子どもたちです。みんなが、朝食後すぐに作り始めお昼にできあがったすき焼きの鍋は、あつという間に空っぽになりました。どんなに困難でも、今自分ができていることを各自が懸命にやり遂げる姿に、高学年としてのたくましさや賢さを感じました。



そして、特にすばらしかったのは、「じ」です。きちんと時間前に集まり、次の活動にゆったりと余裕を持って取り組み、そこからまたすばらしい活動を生み出しました。「ありがとうございます。」「すごいね、じょうずだね。」とすてきな言葉のキャッチボール。「ま」もしっかり達成できました。この他、はらはらどきどきの小刀を使った竹箸作り、「もういや、帰る。おかあさへん!!」「だいじょうぶじゃけえ。」と支え合ったナイトオリエンテーリングなどなど。けがもなく無事に全ての活動をやり遂げ、心地よい疲労感とともに達成感や充実感、そして自己有用感も味わうことができました。

子どもたち同士の絆と担任との確かな信頼関係があつてこそそのすばらしい成果に、これからの5年生のさらなる成長と活躍を大いに感じる野外活動となりました。

よしじま10!! 大成功!!!